

研究課題番号	5RF-1801
研究課題名	化学物質の複合曝露による野外生態リスク評価方法の開発：水質及び底生動物調査と環境水を用いた生物応答試験の活用
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研) 産業技術総合研究所
研究代表者名	岩崎 雄一

1. 委員の指摘及び提言概要

限られた金属元素であるが、ハザード比の和と底生生物応答との関係が、現地観測データをもとに明らかにされており、水質－底生生物－生物応答試験との関連を明確にしたわが国においては初めての研究成果であり、生物応答試験が河川の生態系影響を予測できる可能性を示した点で重要な成果である。今後の水生生物保全のための環境基準などを検討する上でも基礎となる重要な知見であり、既に研究成果が行政において活用されており、当初目標を達成している。ただし、重金属以外の影響、例えば pH や硬度がどのように底生動物の生息に影響していたのかは不明である。野外調査で底生動物の蓄積やその生体内反応のバイオマーカーも調べて、重金属の影響を直接関係づける研究を今後期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A